

# 自転車の交通事故の現状

## 1 兵庫県下の交通事故情勢

### (1) 令和6年中の交通事故発生状況

年	区分	人身事故件数	死者	傷者	
					重傷
令和6年		15,551	109	18,353	972
令和5年		16,281	103	19,113	991
	増減数	-730	6	-760	-19
	増減率	-4.5	+5.8	-4.0	-1.9

【交通事故死者】109人（前年対比+6人）

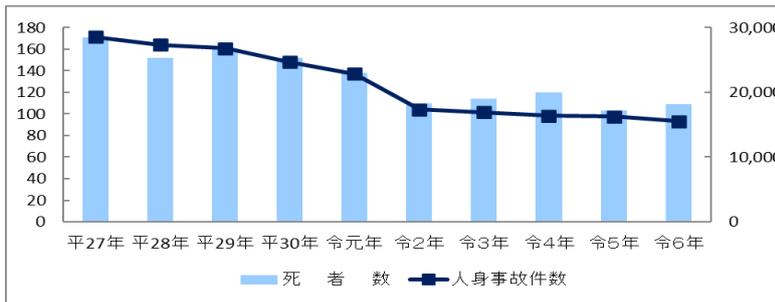
【人身事故件数】15,551件（前年対比-730件）

【年齢別死者】高齢者の占める割合50.5%（死者109人中、高齢者55人）

【時間別死者】4～6時15人（+9人）、8～10時15人（+1人）、  
22～24時15人（+7人）が最多  
次いで6～8時13人（+7人）、16～18時11人（±0人）、  
18～20時11人（+3人）の順

### (2) 過去10年の死者数と人身事故件数の推移

区分	年別	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	増減数
		人身事故件数	28,542	27,340	26,791	24,667	22,896	17,352	16,929	16,372	16,281	
死者数		171	152	161	152	138	110	114	120	103	109	+6
傷者数		35,203	33,397	32,878	29,945	27,501	20,489	20,043	19,425	19,113	18,353	-760



## 2 自転車関係事故の発生状況

区分	年別	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	増減数	
		人身事故件数	28,542	27,340	26,791	24,667	22,896	17,352	16,929	16,372	16,281		15,551
自転車の事故	関係事故件数	6,205	5,945	6,207	5,881	5,716	4,311	4,344	4,162	4,184	3,870	-314	
	構成率	21.7%	21.7%	23.2%	23.8%	25.0%	24.8%	25.7%	25.4%	25.7%	24.9%	-	
	自乗	死者	30	30	22	13	25	23	12	22	13	11	-2
	転用	傷者	6,087	5,800	6,138	5,799	5,614	4,210	4,211	4,050	4,061	3,735	-326
車中	計	6,117	5,830	6,160	5,812	5,639	4,233	4,223	4,072	4,074	3,746	-328	



令和6年中の自転車関係事故は3,870件（前年対比-314件）で減少しており、全人身事故の24.9%を占めている。

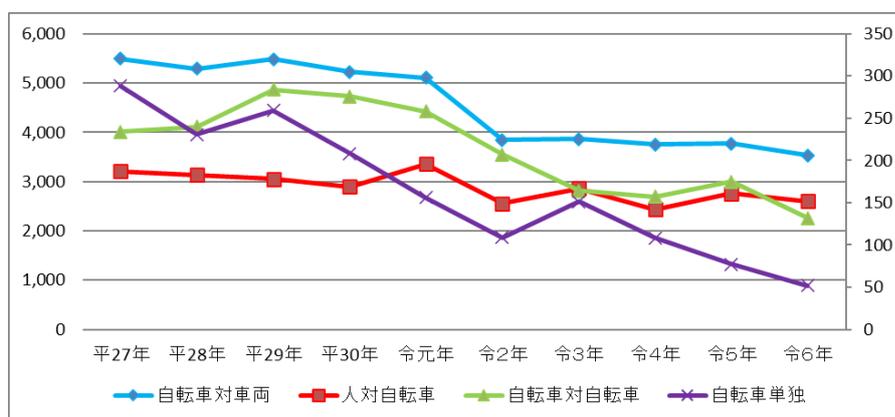
また、交通事故件数は年々減少しているものの、自転車関係事故件数は10年前から微増し、近年は全人身事故の25%前後で推移している。

### 3 自転車関係事故の類型別発生状況

#### (1) 事故類型

区分		年別	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	増減数
事故 類型 件 数	合計(件)		6,205	5,945	6,207	5,881	5,716	4,311	4,344	4,162	4,184	3,870	-314
	人対自転車		187	183	178	169	196	149	167	142	161	152	-9
	構成率		3.0%	3.1%	2.9%	2.9%	3.4%	3.5%	3.8%	3.4%	3.8%	3.9%	-
	自転車対車両		5,496	5,291	5,486	5,228	5,106	3,846	3,862	3,755	3,771	3,533	-238
	構成率		88.6%	89.0%	88.4%	88.9%	89.3%	89.2%	88.9%	90.2%	90.1%	91.3%	-
	自転車対自転車		234	240	284	276	258	207	164	157	175	132	-43
	構成率		3.8%	4.0%	4.6%	4.7%	4.5%	4.8%	3.8%	3.8%	4.2%	3.4%	-
	自転車単独		288	231	259	208	156	109	151	108	77	52	-25
	構成率		4.6%	3.9%	4.2%	3.5%	2.7%	2.5%	3.5%	2.6%	1.8%	1.3%	-
	列車		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	+1
構成率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	

※ 構成率は小数点第2位を四捨五入した



※ 自転車対車両のみ左軸

令和6年中の自転車が関係する交通事故3,870件のうち、自転車対車両の交通事故が3,533件(91.3%)で最も多い。

#### (2) 自転車対車両(自転車対自転車を含む)の交通事故状況

区分		年別	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	増減数
自転車対車両件数 (自転車対自転車を含む)			5,730	5,531	5,770	5,504	5,364	4,053	4,026	3,912	3,946	3,665	-281
出会頭			3,429	3,285	3,496	3,236	3,186	2,353	2,387	2,282	2,303	1,846	-457
構成率			59.8%	59.4%	60.6%	58.8%	59.4%	58.1%	59.3%	58.3%	58.4%	50.4%	-
右左折時			1,461	1,481	1,464	1,427	1,413	1,385	1,065	1,094	1,069	1,354	+285
その他(正面衝突・追突等)			840	820	782	847	855	793	635	545	561	465	-96

令和6年中の自転車対車両(自転車対自転車を含む)の交通事故3,665件のうち、出会頭の交通事故が50.4%を占める。

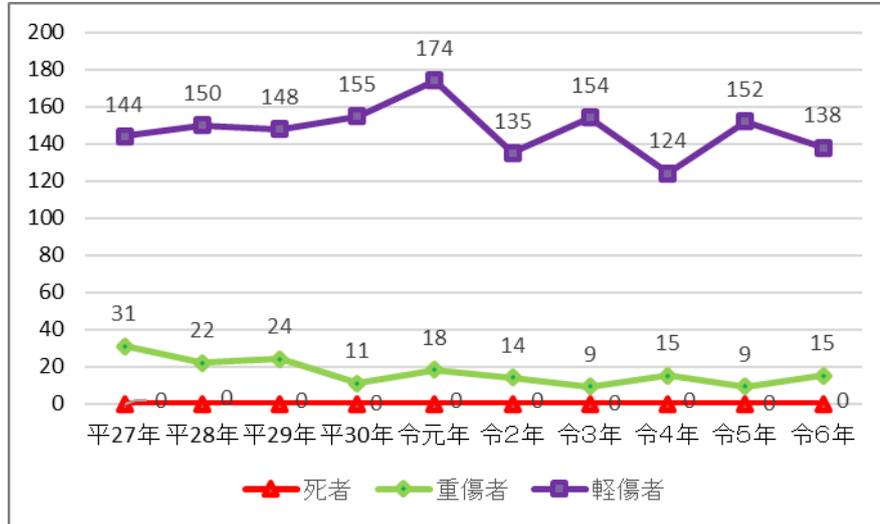
#### (3) 人対自転車の交通事故発生状況

区分		年別	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	増減数
自転車関係事故件数			6,205	5,945	6,207	5,881	5,716	4,311	4,344	4,162	4,184	3,870	-314
人対自転車の事故件数			187	183	178	169	196	149	167	142	161	152	-9
自転車関係事故に占める構成率			3.0%	3.1%	2.9%	2.9%	3.4%	3.5%	3.8%	3.4%	3.8%	3.9%	-

令和6年中の人対自転車の交通事故は、152件(前年対比-9件)であり、過去10年を比較すると、構成率はほぼ横ばいで推移している。

### ① 人対自転車の交通事故による歩行者の死傷状況

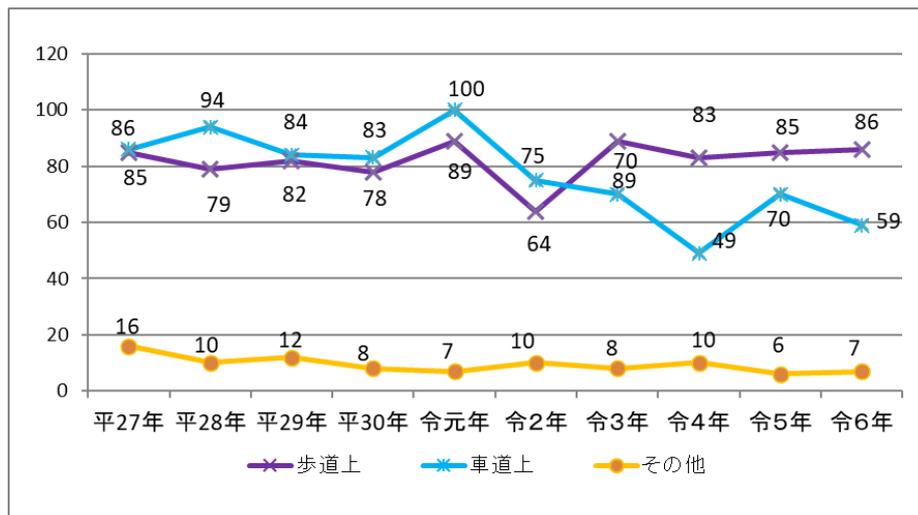
年別		平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	増減数
区分	人対自転車の死傷者	190	193	184	178	205	160	172	147	168	156	-12
歩行者等	計	175	172	172	166	192	149	163	139	161	153	-8
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
	重傷者	31	22	24	11	18	14	9	15	9	15	+6
	軽傷者	144	150	148	155	174	135	154	124	152	138	-14



令和6年中の人対自転車の交通事故による歩行者の負傷者は153人で、そのうち15人(9.8%)が重傷、138人(90.2%)が軽傷となっている。

### ② 人対自転車の交通事故の衝突地点

年別		平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	増減数
区分	人対自転車の事故件数	187	183	178	169	196	149	167	142	161	152	-9
衝突地点	歩道上	85	79	82	78	89	64	89	83	85	86	+1
	構成率	45.5%	43.2%	46.1%	46.2%	45.4%	43.0%	53.3%	58.5%	52.8%	56.6%	-
	車道上	86	94	84	83	100	75	70	49	70	59	-11
	その他	16	10	12	8	7	10	8	10	6	7	+1

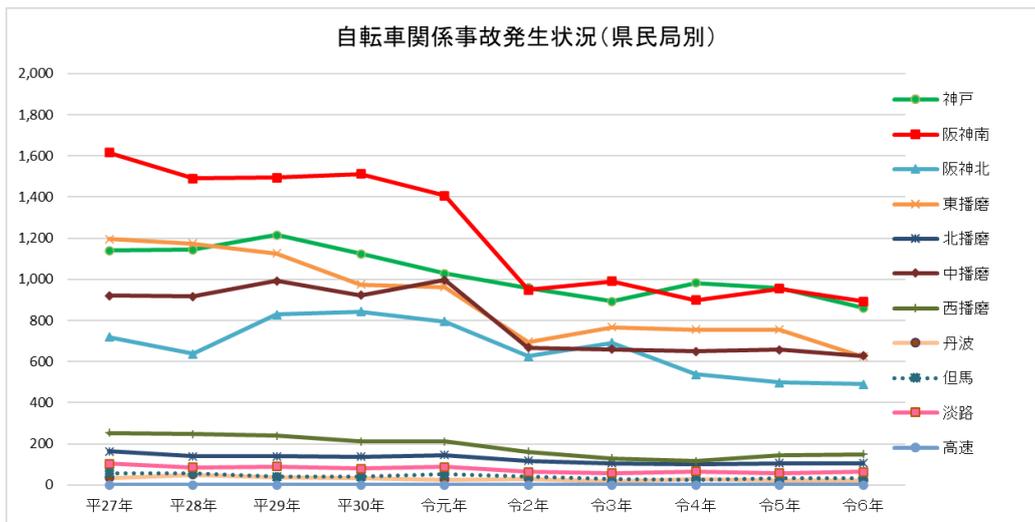


令和6年中の人対自転車の交通事故152件のうち、歩道上での衝突が86件(56.6%)となっており、半数以上が歩道上での衝突事故である。

## 4 自転車関係事故の地域別発生状況

### (1) 県民局別発生状況

年別 県民局別	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	増減数
合計	6,205	5,945	6,207	5,881	5,716	4,311	4,344	4,162	4,184	3,870	-314
神戸県民センター	1,139	1,144	1,216	1,123	1,029	958	892	982	957	860	-97
阪神南県民センター	1,616	1,491	1,494	1,513	1,407	949	991	898	954	892	-62
阪神北県民局	720	637	828	842	795	625	691	538	499	491	-8
東播磨県民局	1,196	1,174	1,126	974	963	696	767	756	756	623	-133
北播磨県民局	163	140	140	138	145	117	106	102	105	105	±0
中播磨県民センター	920	917	992	922	996	668	660	649	658	627	-31
西播磨県民局	253	248	240	212	212	162	130	115	143	150	+7
丹波県民局	35	50	39	35	27	30	18	28	21	23	+2
但馬県民局	59	58	41	41	53	42	30	27	33	34	+1
淡路県民局	104	86	91	81	89	64	59	67	58	65	+7
高速道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0



令和6年中の自転車関係事故のうち、阪神南地域が最も多く、次いで神戸地域、中播磨地域、東播磨地域となっている。

### (2) 市区町別発生状況

市区町別	区分	人身事故			自転車乗用中	
		人数	自転車関係事故	構成率	死者	傷者
合計		15,551	3,870	24.9%	11	3,735
神戸	神戸市小計	4,051	860	21.2%	1	809
	東灘区	410	121	29.5%		117
	灘区	299	76	25.4%		71
	兵庫区	351	115	32.8%		111
	長田区	286	85	29.7%		76
	須磨区	288	45	15.6%		44
	垂水区	369	53	14.4%		53
	北区	491	41	8.4%		39
	中央区	789	181	22.9%		161
	西区	768	143	18.6%	1	137
阪神南	尼崎市	1,194	461	38.6%	1	455
	西宮市	930	344	37.0%	1	326
阪神	芦屋市	251	87	34.7%		83
	伊丹市	440	172	39.1%	1	167
北東	宝塚市	355	118	33.2%	1	115
	川西市	510	146	28.6%	1	135
播磨	三田市	165	28	17.0%		26
	猪名川町	72	27	37.5%		24
北播磨	明石市	973	237	24.4%		231
	加古川市	859	264	30.7%		255
西播磨	高砂市	305	87	28.5%		83
	稲美町	123	19	15.4%		19
東播磨	播磨町	94	16	17.0%		16
	西脇市	83	11	13.3%		11
南播磨	三木市	305	36	11.8%	1	33
	小野市	125	19	15.2%		19
丹波	加西市	116	22	19.0%		22
	加東市	85	14	16.5%		14
多可町	20	3	15.0%		3	

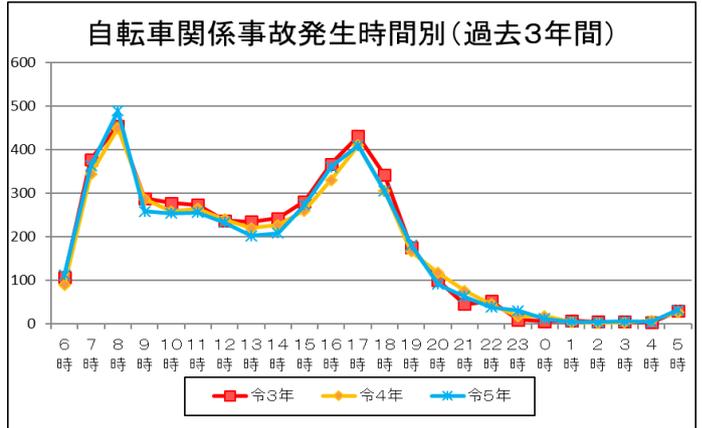
市区町別	区分	人身事故			自転車乗用中	
		人数	自転車関係事故	構成率	死者	傷者
中	姫路市	2,168	610	28.1%		607
播磨	市川町	17	2	11.8%		2
	福崎町	72	14	19.4%		12
西播磨	神河町	22	1	4.5%		1
	相生市	81	19	23.5%		18
播磨	たつの市	242	39	16.1%		39
	赤穂市	149	45	30.2%	1	45
丹波	宍粟市	66	10	15.2%		11
	太子町	133	35	26.3%	1	33
但馬	上郡町	23	1	4.3%		1
	佐用町	13	1	7.7%		1
丹波	丹波篠山市	96	15	15.6%		15
	丹波市	92	8	8.7%		7
豊岡	豊岡市	112	20	17.9%		20
	養父市	37	3	8.1%		3
馬場	朝来市	40	2	5.0%		2
	香美町	23	5	21.7%	1	4
淡路	新温泉町	13	4	30.8%		4
	洲本市	137	27	19.7%		27
路	南あわじ市	148	18	12.2%	1	17
	淡路市	136	20	14.7%		20
高速道路等		675		0.0%		

全人身事故に占める自転車関係事故の割合は、伊丹市・尼崎市・猪名川町・西宮市が35%以上となっている。

## 5 自転車事故の時間別発生状況

### (1) 自転車関係事故件数

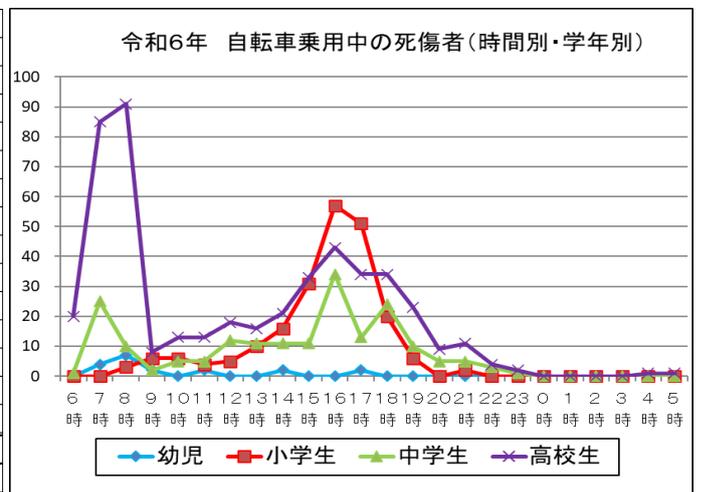
年別		令4年	令5年	令6年	増減数	
時間	計	3,375	3,414	3,126	-288	
	6時	89	112	106	-6	
	7時	344	362	346	-16	
	8時	449	488	414	-74	
	9時	286	258	272	+14	
	10時	258	254	262	+8	
	11時	264	255	230	-25	
	12時	240	233	209	-24	
	13時	219	202	185	-17	
	14時	226	208	186	-22	
	15時	260	273	217	-56	
	16時	330	360	317	-43	
	17時	410	409	382	-27	
	夜	計	787	770	744	-26
		18時	305	304	255	-49
		19時	166	181	161	-20
		20時	117	91	99	+8
21時		76	63	74	+11	
22時		45	38	53	+15	
23時		17	30	36	+6	
0時		18	12	8	-4	
1時		4	5	7	+2	
2時		2	4	6	+2	
3時		3	6	4	-2	
4時		7	4	10	+6	
5時		27	32	31	-1	
合計	4,162	4,184	3,870	-314		



例年、通勤・通学時間帯の8時台、帰宅時間帯の17時台の発生が多い。

### (2) 学年別自転車乗用中の死傷者数

時間別	当事者別	死傷者				計	
		幼児	小学生	中学生	高校生		
時間	6時	0	0	1	20	21	
	7時	4	0	25	85	114	
	8時	7	3	10	91	111	
	9時	2	6	2	8	18	
	10時	0	6	5	13	24	
	11時	2	4	5	13	24	
	12時	0	5	12	18	35	
	13時	0	10	11	16	37	
	14時	2	16	11	21	50	
	15時	0	31	11	33	75	
	16時	0	57	34	43	134	
	17時	2	51	13	34	100	
	計	19	189	140	395	743	
	夜	18時	0	20	24	34	78
		19時	0	6	10	23	39
		20時	0	0	5	9	14
		21時	0	2	5	11	18
22時		0	0	3	4	7	
23時		0	0	1	2	3	
0時		0	0	0	0	0	
1時		0	0	0	0	0	
2時		0	0	0	0	0	
3時		0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	1	1		
5時	0	0	0	1	1		
計	0	28	48	85	161		
合計	19	217	188	480	904		



小学生は15～17時台にかけて、中学生は7時台と16～18時台、高校生は7～8時台と15時～18時台がそれぞれ多くなっている。

## 6 自転車乗用中のヘルメット着用状況

### (1) 死者

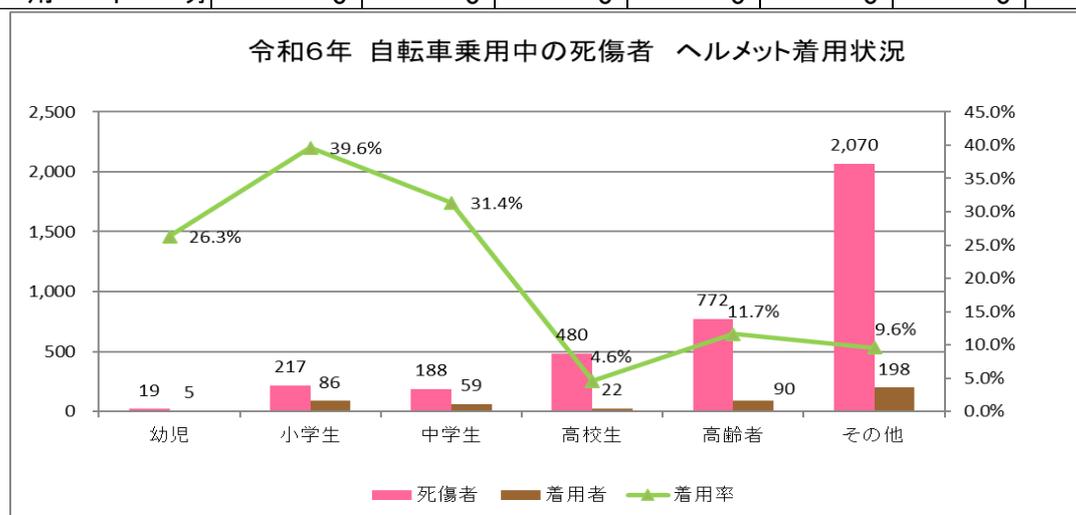
区 分	令和6年						
	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
死 者	0	0	0	1	5	5	11
着 用	0	0	0	0	0	1	1
着用率	—	—	—	0	0%	20.0%	9.1%
離 脱	0	0	0	0	0	1	1
離脱なし	0	0	0	0	0	0	0
離脱不明	0	0	0	0	0	0	0
非 着 用	0	0	0	1	5	4	10
着 用 不 明	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 傷者

区 分	令和6年						
	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
傷 者	19	217	188	479	767	2,065	3,735
着 用	5	86	59	22	90	197	459
着用率	26.3%	39.6%	31.4%	4.6%	11.7%	9.5%	12.3%
離 脱	0	6	3	2	4	7	22
離脱なし	5	80	56	20	86	190	437
離脱不明	0	0	0	0	0	0	0
非 着 用	14	131	129	457	677	1,868	3,276
着 用 不 明	0	0	0	0	0	0	0

### (3) 死傷者

区 分	令和6年						
	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
死 傷 者	19	217	188	480	772	2,070	3,746
着 用	5	86	59	22	90	198	460
着用率	26.3%	39.6%	31.4%	4.6%	11.7%	9.6%	12.3%
離 脱	0	6	3	2	4	8	23
離脱なし	5	80	56	20	86	190	437
離脱不明	0	0	0	0	0	0	0
非 着 用	14	131	129	458	682	1,872	3,286
着 用 不 明	0	0	0	0	0	0	0

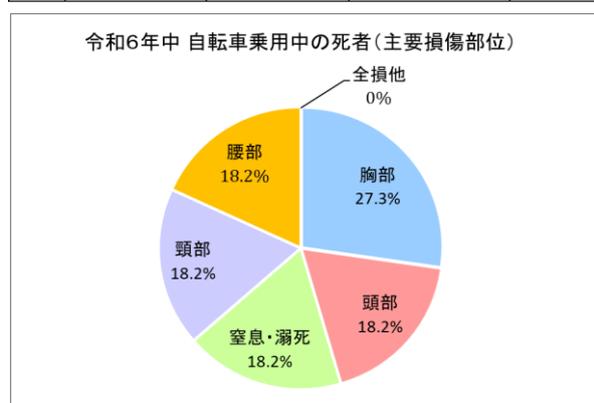


令和6年中の自転車乗用中死傷者3,746人のうち、ヘルメット着用者は460人で着用率は全死傷者の12.3%であった。幼児の着用率は26.3%、小学生は39.6%、中学生は31.4%であった。高校生の着用率が最も低く、4.6%であった。

## 7 自転車乗用中死傷者の主要損傷部位

### (1) 死者

区分	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
合計	0	0	0	1	5	5	11
全損	0	0	0	0	0	0	0
頭部	0	0	0	0	0	2	2
顔部	0	0	0	0	0	0	0
頸部	0	0	0	0	1	1	2
胸部	0	0	0	1	0	2	3
腹部	0	0	0	0	0	0	0
背部	0	0	0	0	0	0	0
腰部	0	0	0	0	2	0	2
腕部	0	0	0	0	0	0	0
脚部	0	0	0	0	0	0	0
窒息・溺死	0	0	0	0	2	0	2

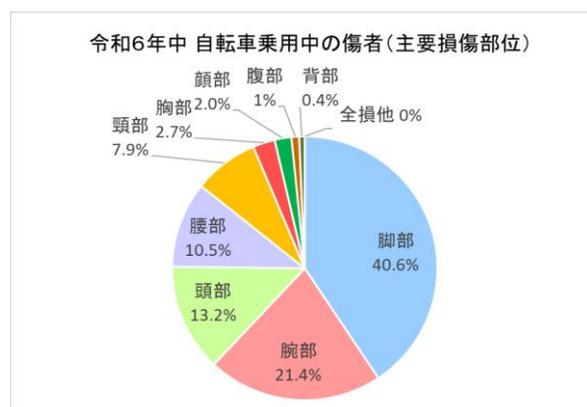


自転車乗用中死者 11 人の主要損傷部位は、胸部が 3 人で全体の 27.3% を占める。

また、死者 11 人のうち高齢者は 5 人 (45.5%) で、主要損傷部位は腰部、窒息・溺死でそれぞれ 2 人が最も多い。

### (2) 傷者

区分	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
合計	19	217	188	479	767	2,065	3,735
全損	0	0	0	0	0	0	0
頭部	7	28	15	59	156	228	493
顔部	1	6	4	10	14	41	76
頸部	1	10	14	35	38	198	296
胸部	0	7	4	4	33	53	101
腹部	0	4	2	1	7	21	35
背部	0	1	2	0	11	11	25
腰部	1	11	14	38	98	231	393
腕部	6	49	42	108	147	446	798
脚部	3	101	91	224	263	836	1,518
窒息・溺死	0	0	0	0	0	0	0



自転車乗用中傷者 3,735 人の主要損傷部位は脚部が 1,518 人 (40.6%)、腕部が 798 人 (21.4%)、頭部が 493 人 (13.2%) の順になっている。

## 8 自転車乗用中の死傷者の違反

違反別		年別										増減数	
		平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年		
合計		6,117	5,830	6,160	5,812	5,639	4,233	4,223	4,072	4,074	3,746	-328	
小計		5,549	5,083	5,557	5,357	5,150	3,849	3,865	3,701	3,629	3,253	-376	
違反	信号無視	165	162	161	145	139	86	78	71	79	67	-12	
	通行区分	244	173	147	121	127	105	89	104	105	129	+24	
	横断・転回等	214	135	211	133	173	113	107	106	168	214	+46	
	優先通行妨害	192	156	174	193	169	137	144	152	128	64	-64	
	交差点安全進行	2,384	2,268	2,288	2,560	2,083	1,616	1,638	1,606	1,439	1,238	-201	
	徐行違反	353	335	590	192	566	380	352	318	387	385	-2	
	一時不停止	488	462	443	485	475	356	367	316	345	269	-76	
	自転車通行方法	51	31	21	7	48	77	28	43	43	12	-31	
	あり	安全	233	185	202	171	126	91	100	92	67	31	-36
		全	42	31	33	18	19	11	21	13	8	7	-1
運		76	76	91	68	55	40	53	57	45	15	-30	
転		452	451	553	644	602	423	474	415	386	448	+62	
義		306	339	302	294	284	165	142	179	280	249	-31	
務		163	119	144	144	99	95	132	101	41	17	-24	
その他		1,272	1,201	1,325	1,339	1,185	825	922	857	827	767	-60	
その他の違反	186	160	197	182	185	154	140	128	108	108	±0		
違反不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0		
違反なし	568	747	603	455	489	384	358	371	445	493	+48		

令和6年中の自転車乗用中の死傷者3,746人のうち、3,253人（86.8％）に何らかの交通違反が認められる。

交通違反のうち、「交差点安全進行義務違反（交差点に進入又は通過するときに、車や歩行者に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければならない義務）」が1,238人で最も多く38.1％を占めており、次いで「安全運転義務違反（安全不確認、周囲の通行者（車）等の動静確認、ハンドル・ブレーキ操作など運転に必要な装置を確実に操作する義務等）」が767人で23.6％、次いで徐行場所違反が385人で11.8％を占めている。